

事務事業名		施設の維持管理事業(し尿処理事業)		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																																		
政策体系	政策名	0 6 自然豊かな環境の保全と創造		事業期間																																			
	施策名	1 9 生活環境の保全		区分																																			
	基本事業名	0 2 環境に配慮した生活の推進		単年度繰返																																			
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条、令第4条、浄化槽法第3条		※期間欄に開始年度を記入																																			
所属	部課名	気仙広域連合衛生課		【開始年度】																																			
	課長名	金野 道程		昭和39 年度～																																			
	係名	総務係	電話	0192-26-3739																																			
	担当者	戸羽 淳美	内線	(直通)																																			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				事務事業区分																																			
<p>構成市町(大船渡市・陸前高田市・住田町)で排出され、委託業者により収集運搬されたし尿等を処理する施設である衛生センターを維持管理運営していく事業。</p> <p>平成22年度からは施設の維持管理を包括的民間委託としている。</p> <p>当広域連合が行う具体的な業務内容は、次のとおり。</p> <p>維持管理業務委託に係る事務、受託業者が行った業務の確認及び指導、維持管理業務委託料等の支払事務。</p> <p>また、し尿の収集運搬委託業者が投入したし尿量及び浄化槽汚泥収集運搬許可業者が投入した浄化槽汚泥量を確認し、し尿処分手数料及び衛生センター使用料の納入通知書を各業者に毎月発行し、納入確認をしている。</p>				C 施設管理																																			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																																			
<p>構成市町(大船渡市・陸前高田市・住田町)で排出され、委託業者により収集運搬されたし尿等を処理する施設である衛生センターを維持管理運営していく事業。</p> <p>平成22年度からは施設の維持管理を包括的民間委託としている。</p> <p>当広域連合が行う具体的な業務内容は、次のとおり。</p> <p>維持管理業務委託に係る事務、受託業者が行った業務の確認及び指導、維持管理業務委託料等の支払事務。</p> <p>また、し尿の収集運搬委託業者が投入したし尿量及び浄化槽汚泥収集運搬許可業者が投入した浄化槽汚泥量を確認し、し尿処分手数料及び衛生センター使用料の納入通知書を各業者に毎月発行し、納入確認をしている。</p>				<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="4">事業費</td> <td>財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td></td> <td>0</td> </tr> </table>		総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金			都道府県支出金			地方債			その他			一般財源		事業費計(A)		0	人件費	正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計(B)		0	トータルコスト(A)+(B)			0
総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金																																				
			都道府県支出金																																				
			地方債																																				
			その他																																				
		一般財源																																					
	事業費計(A)		0																																				
	人件費	正規職員従事人数																																					
延べ業務時間																																							
人件費計(B)			0																																				
トータルコスト(A)+(B)			0																																				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
<p>前年度実績(前年度に行った主な活動)</p> <p>受け入れたし尿及び浄化槽汚泥を全て施設で適正に処理した。</p> <p>今年度計画(今年度に計画している主な活動)</p> <p>搬入されたし尿等を全て適正に処理する。委託業者から手数料、許可業者から使用料を徴収する。施設の維持管理業務については、令和5年度から令和7年度までの3か年長期継続委託契約を締結しているほか、脱水汚泥運搬・処分等一部の業務は、衛生課で直接契約する。機器更新設計業務を委託する。</p>	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア し尿等受入量</td> <td>kl</td> </tr> <tr> <td>イ 施設休止日数</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア し尿等受入量	kl	イ 施設休止日数	日	ウ	
名称	単位								
ア し尿等受入量	kl								
イ 施設休止日数	日								
ウ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
<p>○構成市町内で排出され、施設で処理するし尿等</p> <p>○し尿処理施設</p> <p>○構成市町の住民</p>	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ し尿等処理量</td> <td>kl</td> </tr> <tr> <td>キ 1日における標準処理能力</td> <td>kl</td> </tr> <tr> <td>ク 構成市町の人口</td> <td>人</td> </tr> </table>	名称	単位	カ し尿等処理量	kl	キ 1日における標準処理能力	kl	ク 構成市町の人口	人
名称	単位								
カ し尿等処理量	kl								
キ 1日における標準処理能力	kl								
ク 構成市町の人口	人								
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
<p>○構成市町内で排出され、収集運搬されたし尿等が公衆衛生及び環境上問題のないよう処理する。</p> <p>○し尿処理が休止することのないよう、施設を維持する。</p> <p>○維持管理コストを抑え、構成市町に財政負担が高額とならないように務める。</p>	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ し尿等処理率(処理量/受入量)</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>シ 1日の平均稼働率(処理量/(365日-施設の休止日数)/処理能力130)</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ス 人口1人あたりの維持管理コスト(トータルコスト/人口)</td> <td>円</td> </tr> </table>	名称	単位	サ し尿等処理率(処理量/受入量)	%	シ 1日の平均稼働率(処理量/(365日-施設の休止日数)/処理能力130)	%	ス 人口1人あたりの維持管理コスト(トータルコスト/人口)	円
名称	単位								
サ し尿等処理率(処理量/受入量)	%								
シ 1日の平均稼働率(処理量/(365日-施設の休止日数)/処理能力130)	%								
ス 人口1人あたりの維持管理コスト(トータルコスト/人口)	円								
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									
<p>○構成市町内で発生するし尿等が適切に処理され、管内の衛生環境が維持される。</p> <p>○し尿処理施設が常に良好な状態で保たれる。</p> <p>○維持管理コストを抑え、構成市町の財政的負担が軽減する。</p>									

(2) 総事業費・指標等の推移

年度	単位	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
		千円						
投入量	事業費	国庫支出金						
		都道府県支出金						
		地方債				4,500	54,100	67,700
		その他	9,208	8,815	8,392	8,112	5,866	5,634
		一般財源	137,476	139,230	149,179	146,678	187,802	237,214
	事業費計(A)	146,684	148,045	157,571	159,290	247,768	310,548	
	人件費	正規職員従事人数	3	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	3,544	3,544	3,544	3,544	3,544	3,544
		人件費計(B)	14,176	14,176	14,176	14,176	14,176	14,176
		トータルコスト(A)+(B)	160,860	162,221	171,747	173,466	261,944	324,724
千円								
⑤ 活動指標	ア kl	46,036	44,076	41,960	40,560	29,331	28,169	
	イ 日	0	0	0	0	0	0	
	ウ							
⑥ 対象指標	カ kl	46,036	44,076	41,960	40,560	29,331	28,169	
	キ kl	130	130	130	130	130	130	
	ク 人	59,552	58,458	57,109	55,901	57,031	56,942	
	サ %	100.0	100	100	100	100	100	
⑦ 成果指標	シ %	97.0	92.9	88.4	85.2	61.8	59.4	
	ス 円	2,701	2,775	3,007	3,103	4,593	5,703	

事務事業ID	1089	事務事業名	施設の維持管理事業(し尿処理事業)
--------	------	-------	-------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
し尿の処理は、昭和39年にし尿処理行政の効率的な運営を目指して2市2町(現在2市1町)の広域で開始した。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
管内人口の減少や下水道普及率の向上に伴い、し尿収集量は減少傾向にある。
事業費は、受益者である住民が負担するし尿処理手数料と、構成市町からの負担金で賄われている。開設以来、技術職員を配置し直営による管理で運営していたが、平成22年度から包括的民間委託とし、効率的な処理の実施と事業費の縮減を図っている。
東日本大震災の津波被害によって処理設備の大部分が被災したが、災害復旧により設備が一新され、施設自体の長寿命化が図られた。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
衛生センター隣接住民等協議会との協定で、施設更新時には現在地から移転することを定めている。
連合議会から、SDG'sの観点に立った、より安定的で効率的なし尿処理を進めるために、下水道浄化センターにおける共同処理等について、検討を求める意見が出されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	▽ 理由・内容 構成市町内で排出されたし尿等が公衆衛生上問題なく処理されることは、管内の環境保全につながるものである。また、当施設が休止することなくし尿等を処理することにより住民の安心感を与え、快適な生活が保たれる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	▽ 理由・内容 廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、市町村はその区域内における一般廃棄物を収集、運搬及び処分しなければならないと定められている。当広域連合は、構成市町である大船渡市、陸前高田市、住田町の区域のし尿収集、運搬及び処分に関する事務を行うことになっている。※し尿や浄化槽汚泥は、一般廃棄物に区分されている。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	▽ 理由・内容 当事業は、構成市町内で排出されたし尿等の処理と施設の維持管理事業であるため、対象は適切である。意図においても廃棄物の処理及び清掃に関する法律に定められており適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	▽ 理由・内容 搬入したし尿等の全量を処理できており、処理率についてはこれ以上の向上余地はない。また、施設運営方法を包括的民間委託としたことと、3か年の長期継続契約としたことにより、トータルコストの抑制が図られている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	▽ 理由・内容 災害等による休止については、県内市町村等で相互支援協定が締結されており、他地域の処理施設での処分は可能となるが、あくまでも緊急避難としての対応となり、常時他地域の処理施設で処分することはできない。 下水道処理施設で共同処理する場合は、構成市町のコンセンサスのほか、下水道処理施設の大規模改修が必要となり、相当の準備期間が必要となる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	▽ 理由・内容 性能発注の考え方に基づく包括的民間委託の継続実施により、人件費、薬品使用量、電気料といった事業費が縮減し、し尿処理の効率化が図られる。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	▽ 理由・内容 下水道浄化センターで共同処理することにより、事務量と職員数の減が見込まれる。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公平・公正である	▽ 理由・内容 昭和62年施設更新時に、し尿処理に係る経費の10%を目標に受益者負担(処分手数料)を課すことに決定。更新に係る地方債償還を終えたため、平成18年4月から手数料改正を行い受益者負担を軽減し、管内統一料金とした。以来、処理手数料は据え置きとなっている。昨今の社会情勢を踏まえ、他地区の実態も勘案しながら、手数料改定の検討が必要である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					
2 改革改善(縮小・統合含む)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×	包括的民間委託を受託している業者に対して、事業費削減に向けた取組みについて提案するよう指示する。 下水道浄化センターとの共同処理については、衛生センターの建物としての耐用年数や機械設備の耐用年数を考慮した上で、共同処理の有効性を判断し、広域振興課と協議しながら必要な事務を進める。
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持	●		×																			
	低下		×	×																			
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
2 改革改善(縮小・統合含む)	施設管理は長期契約による包括的民間委託により適正に管理され、し尿処理も安定的かつ効率的に実施されている。建物は築40年近く経過しており、震災復旧により更新された設備も更新が必要となっている。一方、今後もし尿発生量の減少が見込まれることから、より一層効率的なし尿処理の実施が求められており、今後のし尿処理の在り方や下水道処理施設との共同処理について検討していく。